

岡山県立高梁高等学校長

鳥越 信行

令和6年度岡山県立高梁高等学校学校評価書

1 学校自己評価について

- ・別紙「令和6年度 岡山県立高梁高等学校具体的な学校経営目標・計画」参照

2 学校関係者評価について

(1) 学校運営協議会委員名

五百蔵 実（高梁高校PTA会長）	石田 芳生（高梁市市議会議長）
河村 顕治（吉備国際大学学長）	秦 範吉（高梁高校同窓会代表）
平井 聡一郎（文科省ICT活用教育アドバイザー）	
福原 洋子（高梁市教育委員会事務局参与）	
横山 弘毅（高梁市学校連携コーディネーター）	
鳥越 信行（高梁高校校長）	西村 能昌（高梁高校教頭）

(2) 学校関係者評価について

学校運営協議会における学校関係者評価として、委員から指摘いただいた主な点は、次の通りである。

- ① 生徒の成長を戦略的に広報活動していくことによる生徒募集の充実。
- ② DXハイスクール事業を進めていくにあたって、デジタル人材の育成を意識した教育内容の整備とICTを活用した協働的な学びに必要な環境整備の実現。
- ③ 生成AIの活用による諸活動のアセスメントの充実。
- ④ 校外での活動に参加する機会の充実による一歩前へ踏み出す生徒の増加。
- ⑤ 地域行政・地元企業等と連携して社会課題解決を目指すプログラムの実現。

3 令和7年度の重点目標（案）について

学校評価をふまえた今後の方向性は、次の通りである。

①資質能力を育成するR-PDCAサイクルの促進。	⑥一歩前へ踏み出す生徒の支援。
②学力伸長を目指した指導の充実。	⑦新しい時代の学びに対応した学習環境の整備。
③ICTを活用した文理横断的・探究的な学びの強化。	⑧全県学区に対応する戦略的な広報活動による生徒募集。
④3年間を見通した進路指導の充実。	⑨地域・保護者の学校理解の促進。
⑤国際交流プログラムの進化。	